

ウエルネスクラブの事業効果評価 < (中性脂肪値/HDL コレステロール) の変化 >

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科循環器内科の三木崇史氏らの発表(2016/3/18 第80回日本循環器学会年次学術集会)によると、中性脂肪値(以下: TG)をHDLコレステロール値(以下: HDL-C)で除した値「TG/HDL-C比」が、急性冠症候群ハイリスク状態の予知因子であり、「TG/HDL-C比」が新たな治療マーカーとなる可能性があると報告されました。

そこで、ウエルネスクラブの事業効果評価として、「TG/HDL-C比」(基準値: 3.03以上を「高群」、未満を「低群」とした)の変化を確認しました。

統計解析には StatView5.0 を使用し、統計的有意水準は5%に設定しました。

測定値の男女比較には対応のないT検定を使用し、比較データは平均値±標準偏差で示しました。

5年間の変化は、One-way Repeated measure ANOVAで、多重比較はTukey-Kramer法を用いました。

<対象者>

アクアドームオープンの1991年から2014年3月までの間で、ウエルネスクラブ入会後5年以上継続し、TGとHDL-Cの値が揃っている人を対象にしました(表1)。

表1 対象者

	男性	女性	差のP値
人数(人)	144	146	
年齢(歳)	57.0±12.0	53.6±11.6	P=0.0129
TG(mg/dl)	136.7±82.1	101.4±72.4	P=0.0001
HDL-C(mg/dl)	54.9±15.3	65.6±18.4	P<0.0001
TG/HDL-C比	2.876±2.256	1.864±2.016	P<0.0001

基準値を超える「高群」は、男性52人で36.1%、女性22人で15.1%でした。また、「高群」74人の男女比は、男性70.3%:女性29.7%でした。

<結果>

TG/HDL-C比の変化は、男女ともに入会時に比べて、5年目で有意な低下が認められました(図1、図2)。

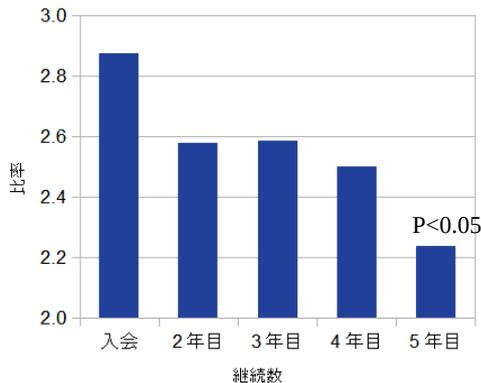


図1 男性の TG/HDL-C 変化

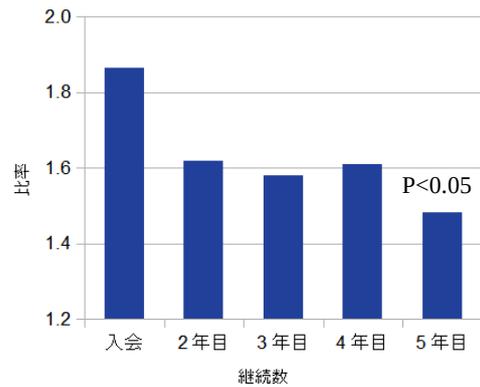


図2 女性の TG/HDL-C 変化

「高群」は男女共に減少傾向が認められました(図3、図4)。男性で入会時に比べ5年目で、女性で2年目、3年目、5年目に有意な差が認められました。

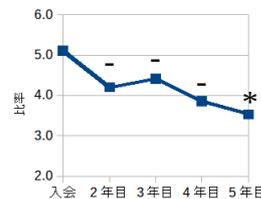


図3 男性「高群」の変化

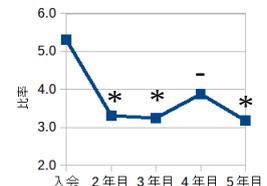


図4 女性「高群」の変化

N.S. : - P<0.05 : *

「低群」は男女ともに変化が認められませんでした(図5、図6)。

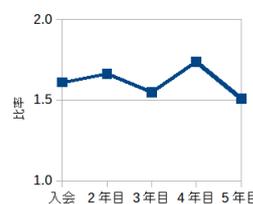


図5 男性「低群」の変化

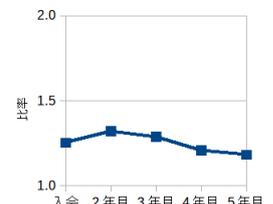


図6 女性「低群」の変化

<考察>

入会時にTG/HDL-C比が高い人は、ウエルネスクラブ会員を継続することによって、低下していることが認められました。

これは、健康づくりを目的に運動を定期的に行っている効果と推察されます。ウエルネスクラブ事業の効果が現れたものと考えられます。